

原因はなんだろう！

山中湖村の
経済的落ち込みの原因は何？

ゴールデンウィークを終え、「今年は、お客様が少ない！」と悲痛な声をよく耳にします。

経済不況の問題は、全国的、世界的で、山中湖村だけに限ったことではありませんが、社会のせいにしていても、実際の生活の問題は解決しません。

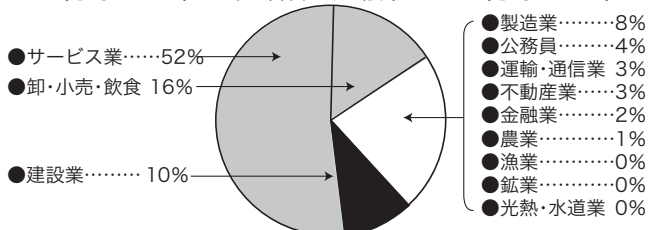
山中湖村が、『観光立村』という以上、観光地としての課題を整理してみる必要があると思います。

- 山中湖村は、観光客が、ぜひ行ってみたいと思える観光地でしょうか？ ● 観光業の方々の、お客様をもてなす心遣いは、十分でしょうか？
- 観光客の満足できる「山中湖での憩いプラン」を提供しているでしょうか？……その他、まだいろいろあると思いますが、個々で改善できること、

断然多い観光関係業

山中湖村の職業別人口の割合

下のグラフは国勢調査にもとづく、山中湖村の職業別人口割合です。ご覧のとおり、1位は、サーにス業の52%、卸・小売・飲食を含めると68%(忍野は32%)です。2番目は、建設業で10%(忍野は15%)です。



しかし低い予算配分

商工費—1：19—土木費

平成16年度予算の配分を見ましょう。

- 観光関係に該当する「商工費」は2億5,170万円です。この内、今年度の観光特別会計の借金返済分(2億1,100万円)の補填として1億6,200万円が繰り出されますから、使える残りは8,970万円です。
- 一方、土木関係の「土木費」はどうでしょうか。12億7,600万円となっていますが、これには交流プラザの建設費10億2,500万円が入っていません。(村の予算では教育費に入れられているのです。)この二つを合計すると23億円になります。

「土木費」の内訳は、下水道特別会計に4億

1,300万円を繰り入れ、その内3億4,300万円が今年度借金返済分として使われます。

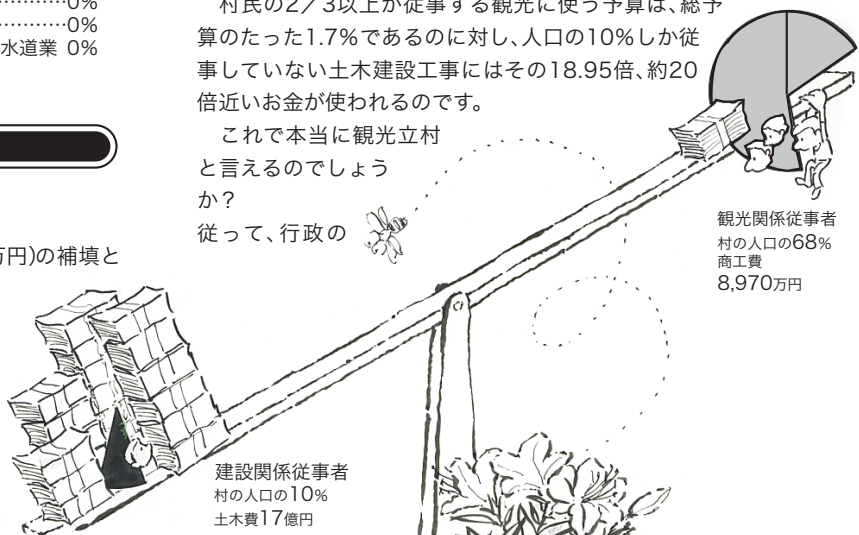
観光振興公社などへの委託料を含む「公園費」は9,700万円ですから、これらを差し引きて約17億円が建設工事に使われる計算です。

● さて、総予算を住民一人当たりで見ますと、一年間に約87万円の行政サービスを受ける計算です。(忍野村は約41万円)

この内、観光関係に使われるお金が一人当たり13,300円であるのに対し、工事関係に使われるのは28万3,000円にもなりません。

村民の2/3以上が従事する観光に使う予算は、総予算のたった1.7%であるのに対し、人口の10%しか従事していない土木建設工事にはその18.95倍、約20倍近いお金が使われるのです。

これで本当に観光立村と言えるのでしょうか？
従って、行政の



観光関係従事者
村の人口の68%
商工費
8,970万円

建設関係従事者
村の人口の10%
土木費17億円

土木工事偏重の 公共事業からの決別を！！

上の項で明らかなおとおり、本当に山中湖村を改善し、立て直そうとするには、土木工事偏重の公共事業の行政を、根本から立て直さなければなりません。

個人個人の努力は必要ですが、日本一の富士山と湖の観光地として、魅力ある村づくりに最大の予算を講じるべきです。

土木建設工事も観光関係事業だと言うかもしれませんが。果たして本当でしょうか？

NO!と言える 勇気を持とう

今年は、村長選の年です。コンクリート主体の土木建設工事の行政にハッキリと「No」という勇気が、何よりも必要です。

そして、借金からくる負担を、子孫に残さない責任が課せられてきます。

何よりも、納税者一人一人が納得できるお金の使い方と、観光客が憧れるような山中湖村の村民自身の暮

これからの半年間、一緒に行政をシッカリ見つけ、真剣に考えていきましょう！

土地代金113,713,000円の 支払証拠を、どう見ますか？

山中湖村は、東京電力から湖畔の土地12haを3回に分けて購入しました。

右に掲載したものは、1回目の代金支払証拠として裁判所に提出したものです。金額欄の数字以外は枠も罫線もすべて手書きです。

2回目・3回目の証拠書類は、正式な「支払命令書」を提出していますが、右のものには、村の正式な印さえありません。

村民の皆さんは、これをどう判断されますか？

限られた紙面のため、ホームページを用意しました。これだけでは判らないという方は、ぜひご覧下さい。

<http://www.mfi.or.jp/mirai/>



インターネットやコンピュータを操作していないという方へは、いつでもご説明に上がります。

連絡事項

6月定例議会の日程
6月11日～16日

これからの山中湖を考える会 6月4日(金)夜7時から
旭日丘公民館 1階和室 (暖房完備)
村政や定例議会に対する要望・意見など、遠慮なくお持ちください。